

松本市多事争論会

次代につなぐアルプス公園

松本市



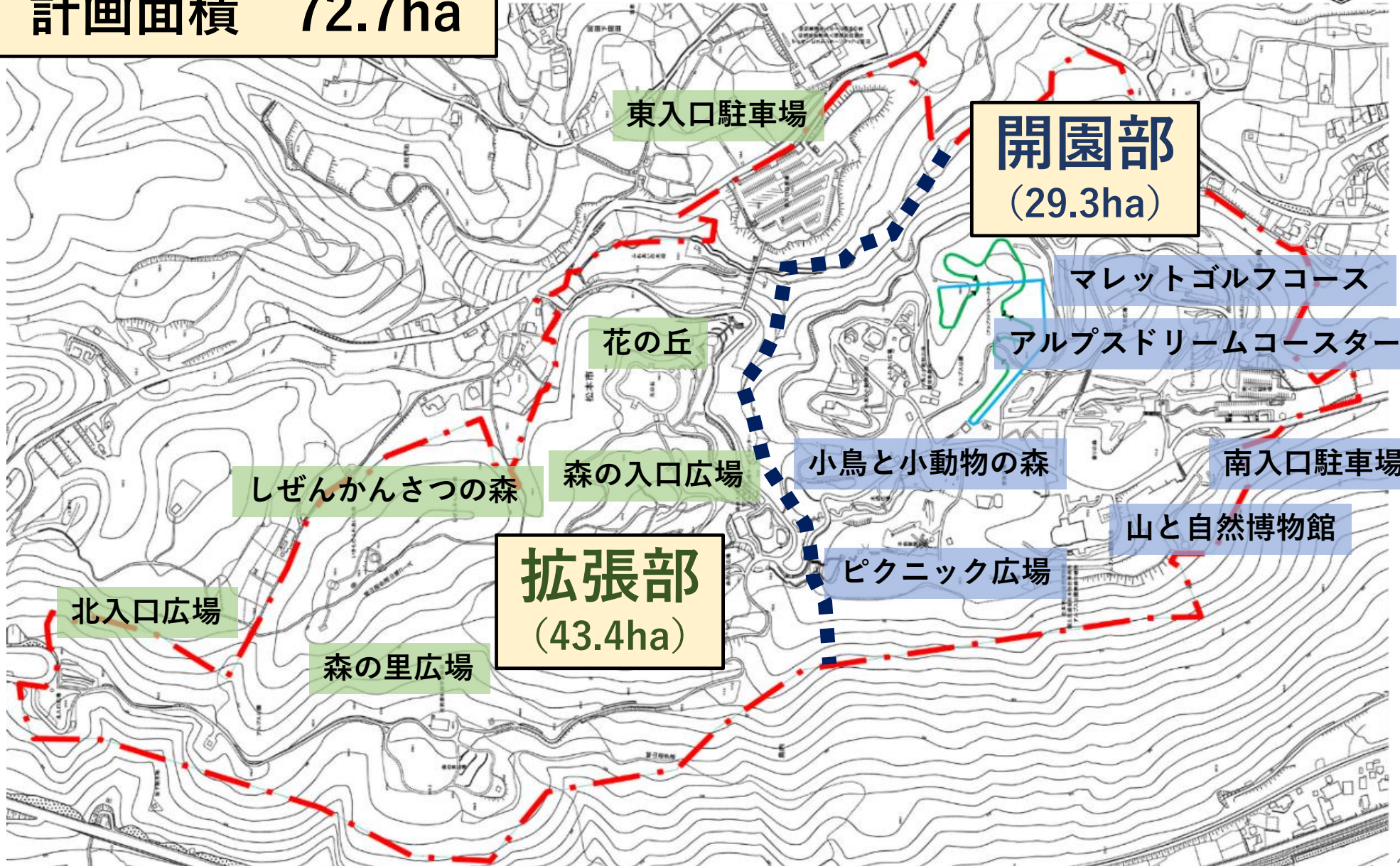
アルプス公園整備の経緯

- ・ S 4 9 年 3 月 丘陵地利用の総合公園として開設
- ・ H 1 1 年 3 月 拡張基本計画を策定
- ・ H 1 7 年 3 月 公園管理運営検討委員会を設置
- ・ H 1 9 年 5 月 アルプス公園リニューアルオープン
山と自然博物館開館
- ・ H 2 9 年 1 2 月 旧まきば山荘跡地に展望広場を整備
- ・ R 3 年 7 月 小鳥と小動物の森の大規模改修着手
- 1 1 月 北側拡張部自然活用検討会議を設置

アルプス公園の全体図



計画面積 72.7ha



東入口駐車場

開園部
(29.3ha)

マレットゴルフコース
アルプスドリームコースター

花の丘

小鳥と小動物の森

南入口駐車場

山と自然博物館

しぜんかんさつの森

森の入口広場

拡張部
(43.4ha)

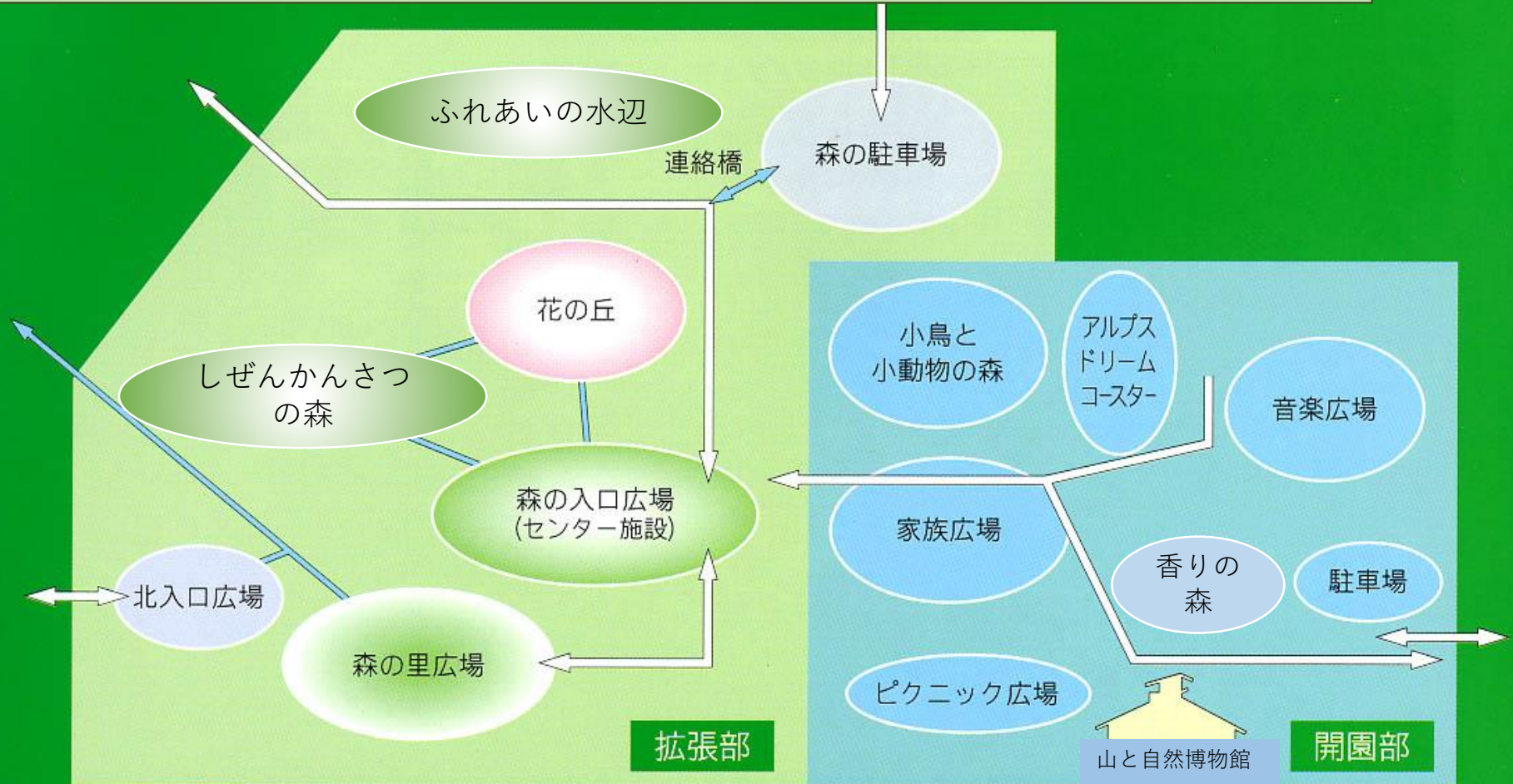
ピクニック広場

北入口広場

森の里広場

エリアで見る公園整備の考え方

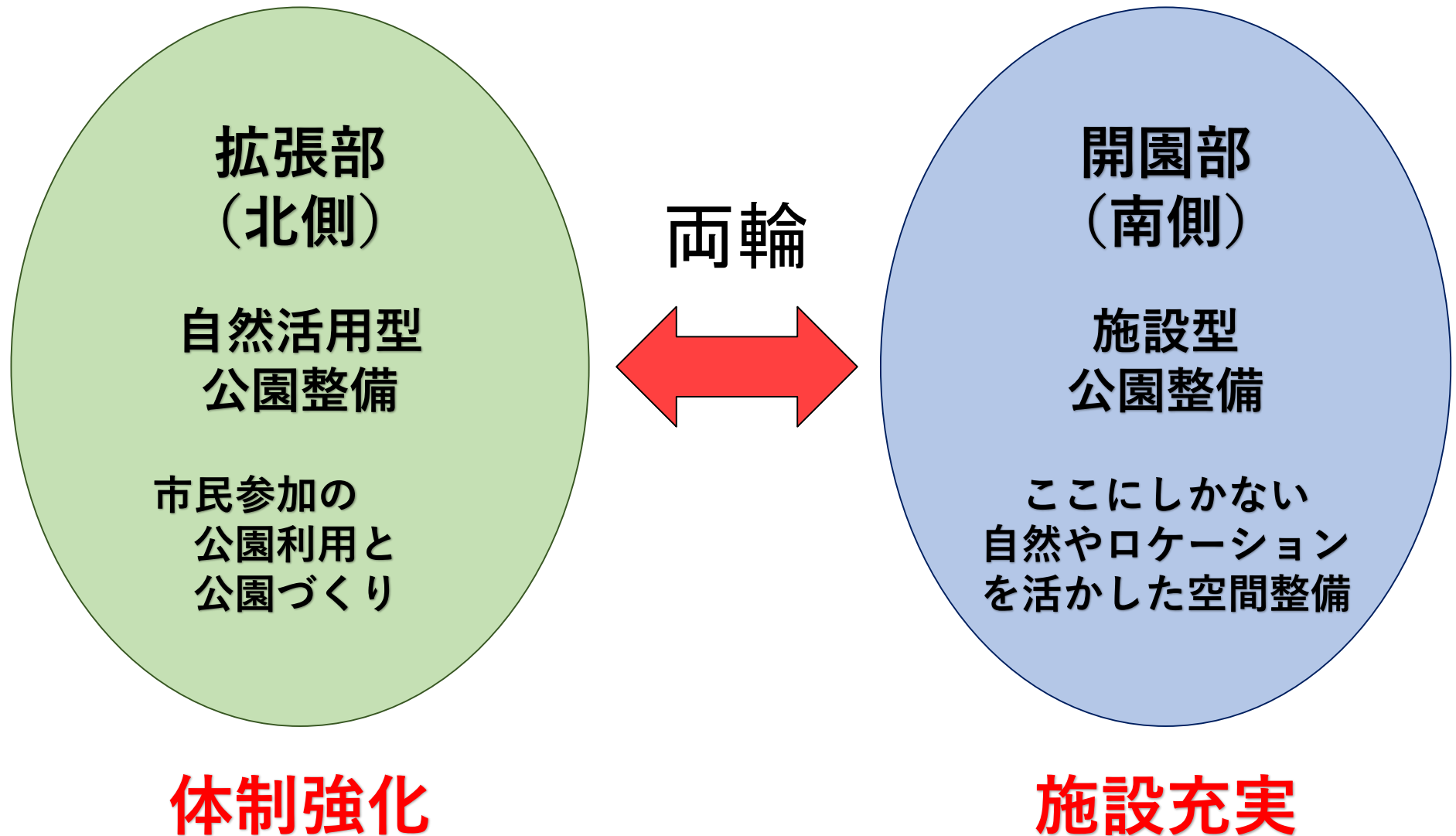
〔北側〕 自然環境を重視した自然活用型公園整備



〔南側〕 時代の要請に対応した施設型公園整備

アルプス公園全体の魅力向上

両輪で公園全体の魅力向上を図る



松本市の総合公園

総合公園

休息、遊戯、運動等の総合的な利用に供することを目的とする公園で都市規模に応じ10～50haを標準として配置

市内の総合公園

松本城公園、アルプス公園の2か所

第11次基本計画

総合公園は基本計画において「施策の方向性」を明記

松本城公園

アルプス公園

施策の方向性

▶松本城三の丸エリアビジョンの実現
二つの国宝を有する松本城三の丸及びその周辺について、歴史の積み重ねや特性を生かしたまちの将来像を示し、多くの市民と連携して各種事業を推進しその実現を目指します。

▶アルプス公園全体の魅力向上
ここにしかない自然やロケーションを楽しめる空間を創出し、時代の要請に対応した賑わいのある公園づくりを進めます。

松本市全体から見たアルプス公園の位置づけ

街の新たな付加価値

・アルプス公園が有する地理的条件と自然環境には、松本市という都市が持つ魅力が凝縮されている

→ 松本市のシンボリック存在

潜在的資源

- ・豊かな自然環境
- ・市街地から眺める雄大なアルプス
- ・都市と緑のほど良い距離感

・アルプス公園の魅力向上の効果は、公園のみにとどまるものではなく、松本市全体の新たな付加価値となり、街全体のブランディングに寄与する

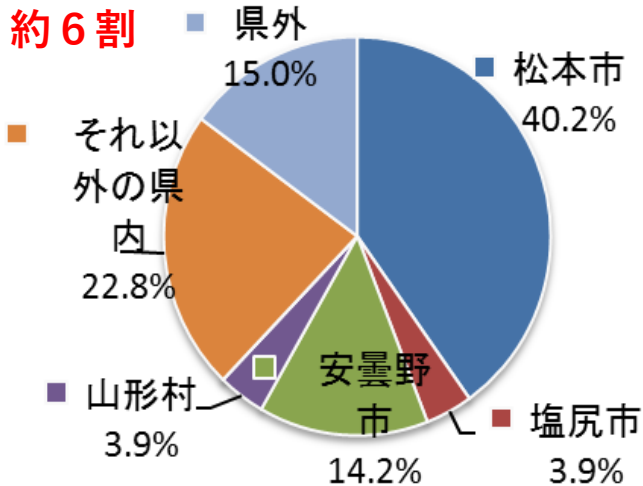
利用実態から見る潜在的資源 ～その1～

- ✓ 来園者の約6割が県外を含む市外居住者であり、市民はもとより広域から多くの人に利用されている。
- ✓ 来園者の約7割が20歳未満であり、約5割の人がこどもの遊戯施設を目的に来園している。
- ✓ 一方、小鳥と小動物の森を目的とする来園割合は低く、自然観察で来園する人も少ない。

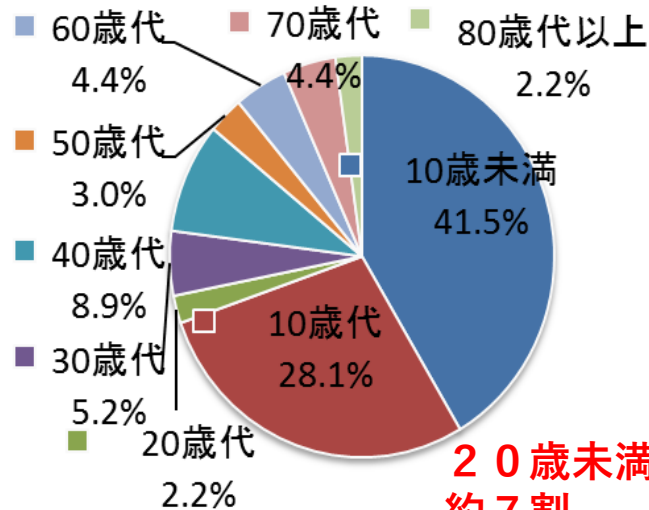
R2年度アンケート調査結果（指定管理者が毎年実施）

居住地

市外居住者が
約6割

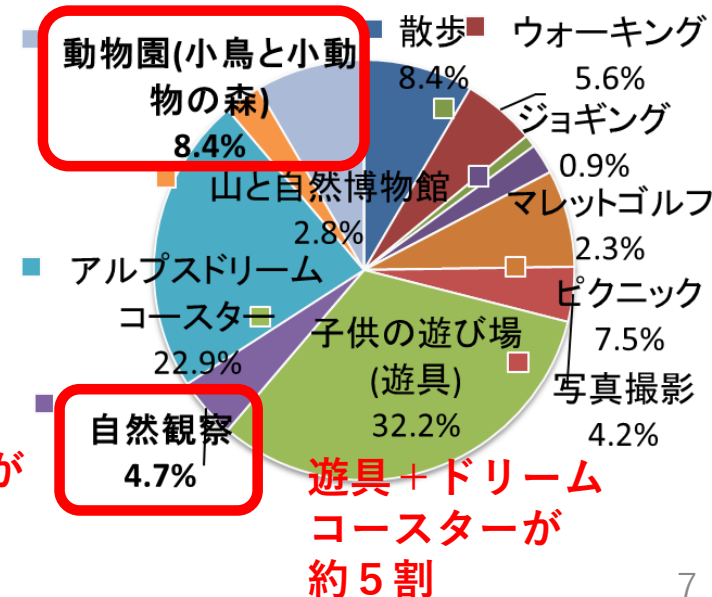


年齢層



20歳未満が
約7割

来園目的



遊具+ドリーム
コースターが
約5割

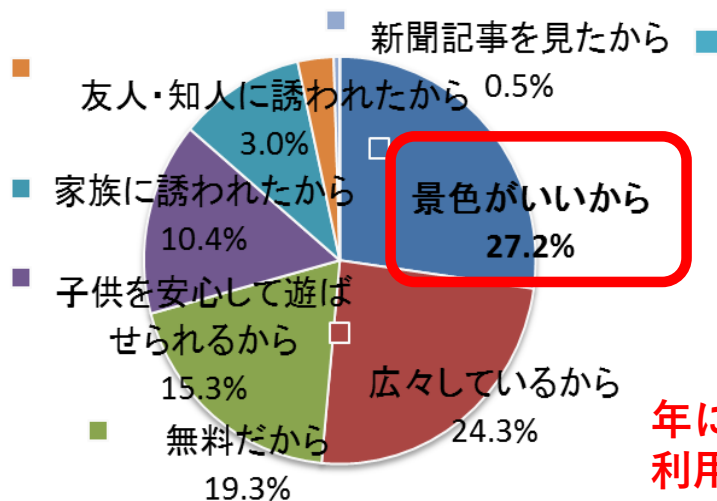
※ 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

利用実態から見る潜在的資源 ～その2～

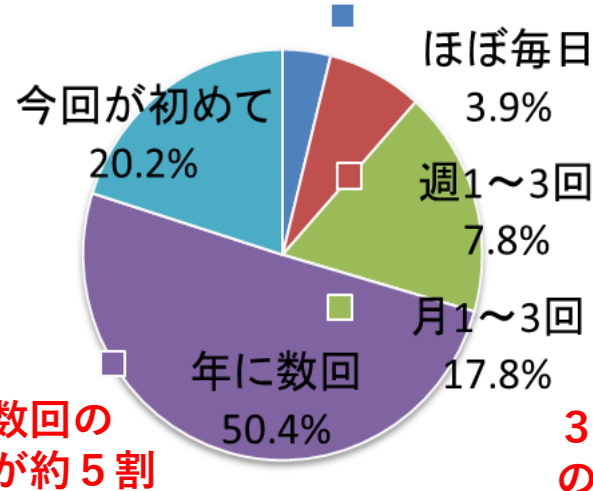
- ✓ 来園動機のトップは、景色の良さ・ロケーションである。
- ✓ 一方、利用頻度は年に数回が約5割、滞在時間も3時間以内が約7割である。
- ✓ ロケーションに+αの魅力を創出することで、こどもの遊戯施設などと同様に複数回の利用やこれまで公園を利用してこなかった人の利用につながる可能性がある。

R2年度アンケート調査結果（指定管理者が毎年実施）

来園動機

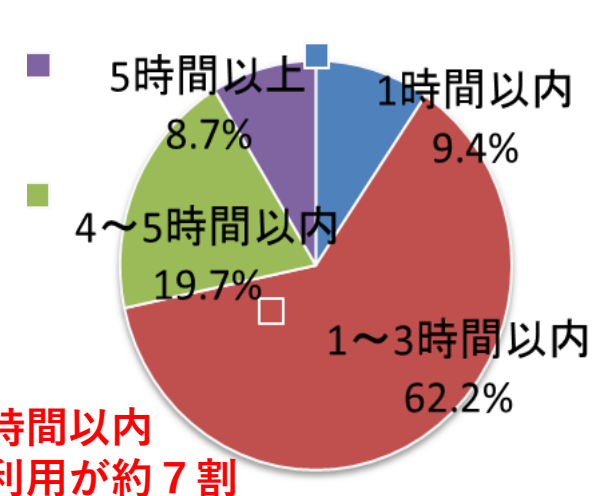


利用頻度



年に数回の
利用が約5割

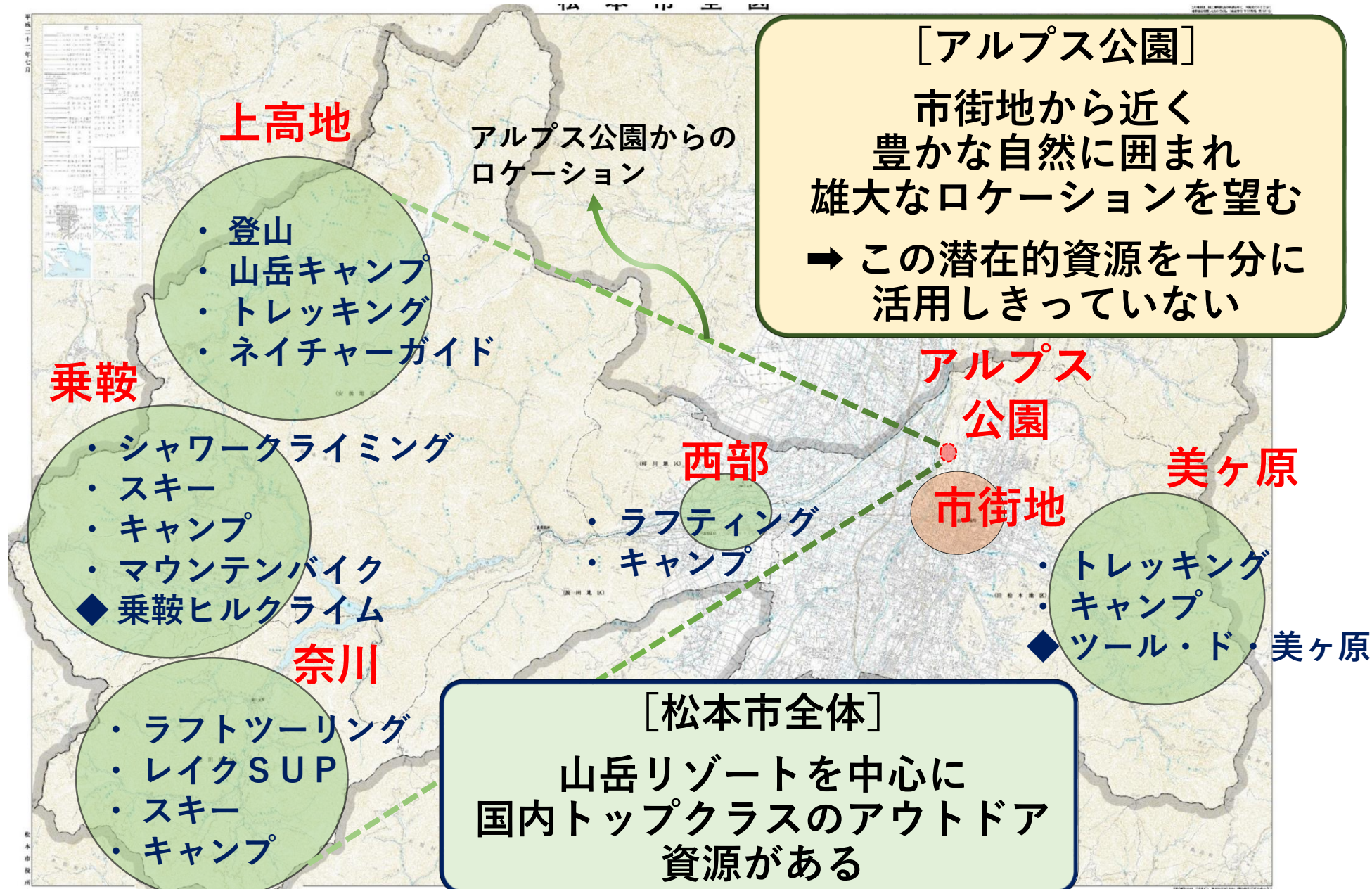
滞在時間



3時間以内
の利用が約7割

※ 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

地理的条件から見るアルプス公園の潜在的資源



アルプス公園全体の魅力向上に向けた取組み

R4年8月リニューアル

小鳥と小動物の森の
大規模改修

R3年11月立ち上げ

北側拡張部自然活用
検討会議の設置

4つの柱

旧まきば山荘跡地の利活用

オートキャンプ場の
整備

展望広場の改修

小鳥と小動物の森の大規模改修

R 3～R 4 年度 サル舎・タヌキ舎の改修

R 5～R 7 年度 イノシシ舎・小獣舎・水鳥舎・園路等の改修

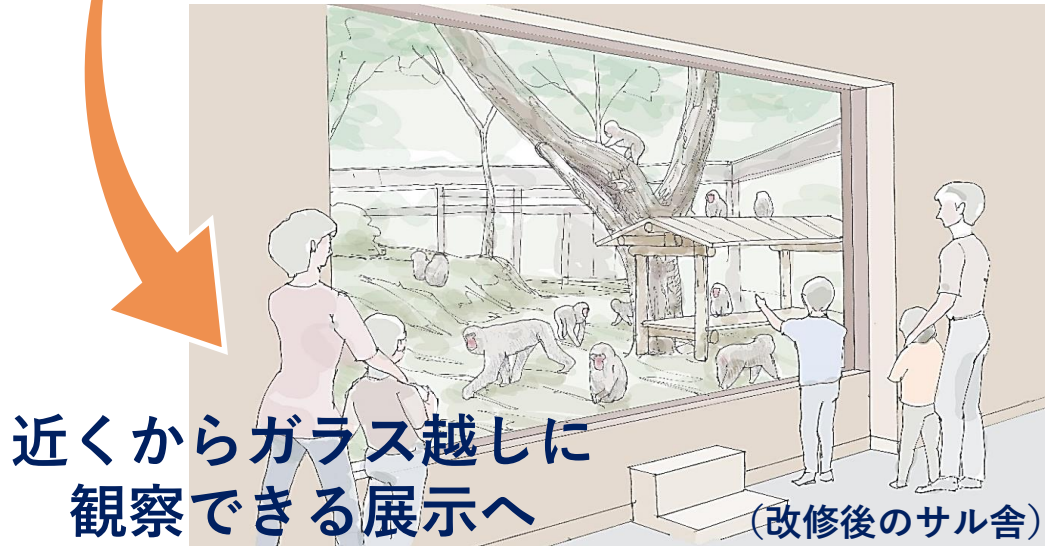


動物の生息環境に
即した展示へ

(現在のサル舎)

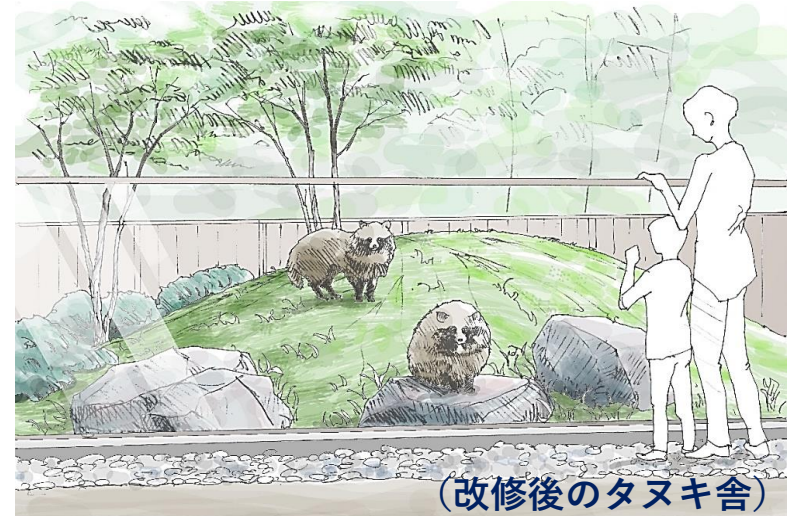


(改修後のサル舎)



近くからガラス越しに
観察できる展示へ

(改修後のサル舎)



(改修後のタヌキ舎)

オートキャンプ場の整備イメージ



アルプス公園の潜在的資源の活用

- ✓ ロケーションを最大限に活用
- ✓ これまで利用されてこなかった時間帯を活用

ロケーションが最も美しい日の入、日の出の時間帯は利用者が少ない



展望広場の改修イメージ

✓ 固定式のベンチ



(現状)

展望広場からロケーションを
ゆったりと楽しめる空間整備

- ✓ タープなどによる日除け
- ✓ 可動式のテーブル・椅子
- ✓ 床面の舗装
- ✓ キッチンカーの乗り入れ
など

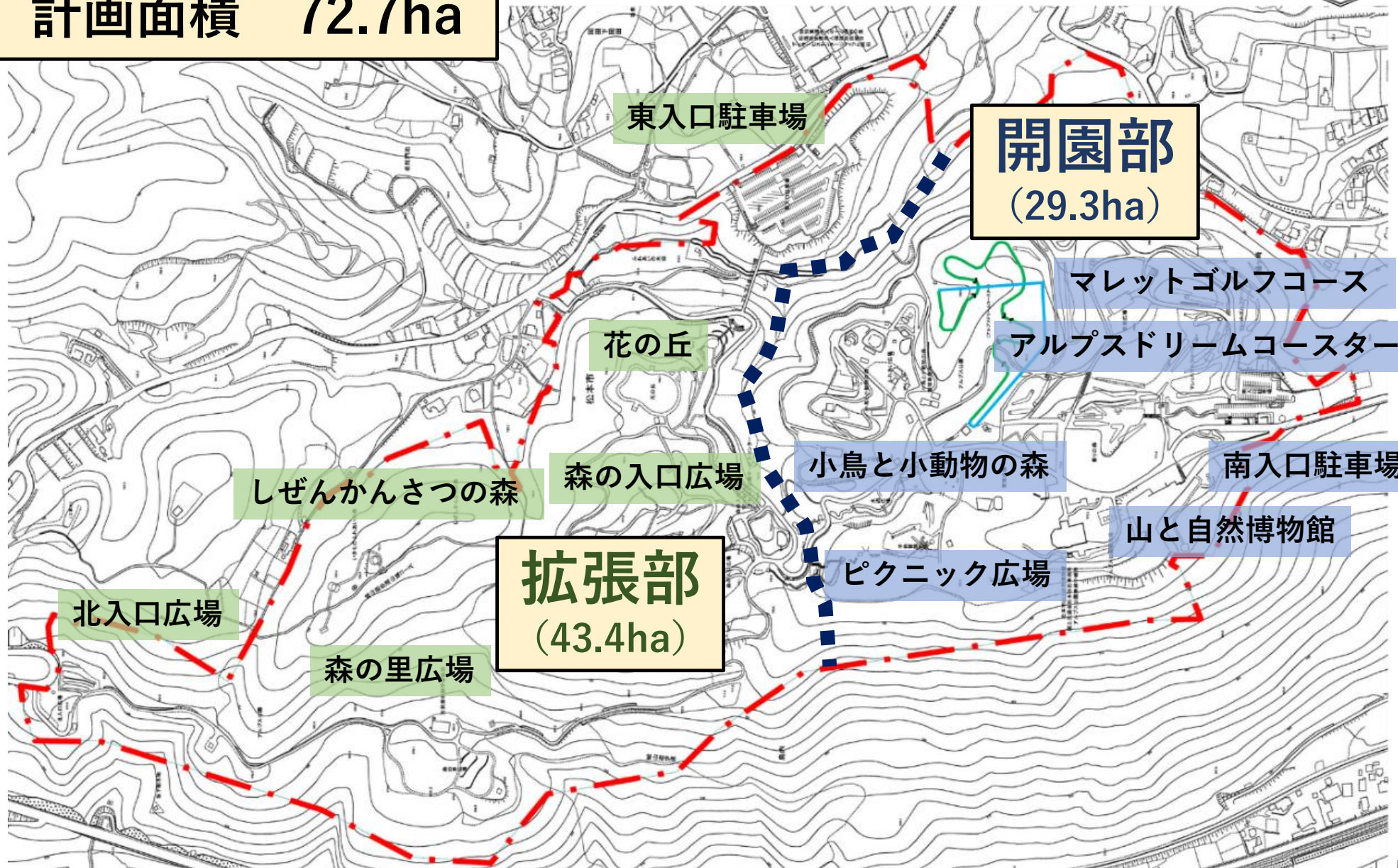


(改修後のイメージ)

アルプス公園の全体図 (再掲)



計画面積 72.7ha



北側拡張部自然活用検討会議の設置

北側拡張部の利活用を図るため、必要な整備・管理運営方法・推進体制などを検討して市長に提言する会議

第1回目の会議において出された意見



自然体験・観察の場となる
池の復活、活用を進めたい



魅力の伝え方・情報発信に
工夫が必要

ご清聴ありがとうございました

